

科目名 (科目番号)	精神看護学実習 (074263)	教員名 渡部洋子他	学科等	看護	必修	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー	適時	渡部研究室		
授業概要	精神看護学概論、精神看護学援助論、その他関連する既習の学問を基盤に、精神に障害をもつ人に関心を寄せ、生きづらさを理解し、リハビリをストレングスの視点からアセスメントし、その人らしい生き方を支える看護について、患者や利用者との対人関係の中で生じる自身のありかたや地域包括的精神保健福祉を視野に入れた看護活動の実際を学ぶ。関係する垂直軸：看護、健康の状態、人間の理解、コミュニケーション、生活環境、多職種連携、情報の組織化、自己研鑽						
準備学習							
授業計画	到達目標・学習内容						
	<p>学習内容 精神に障がいをもつ人の生きづらさについて、精神機能と生活機能、および家族が抱える困難をアセスメントし、対象に応じた看護実践能力を養う。また、現代社会における精神保健福祉の実際を理解し、精神科医療の課題を考察する。</p> <p>到達目標 1. 精神機能および生活機能についてアセスメントができる。 2. 精神障がいによる生きづらさや日常生活に及ぼす影響についてアセスメントできる。 3. 夢や希望を支えるために健康面としての患者の強み(ストレングス)を活用しケアプランを一緒に考えることができる。 4. 患者と自己とのコミュニケーションの傾向を洞察し、ケアに活かすことができる。 5. 在宅での生活を継続するために必要な社会資源の選択、ならびに利用者にとり期待される効果について考察できる。 6. 社会復帰施設等の活動への参加を通し、精神科医療を支える多職種連携と看護の役割を考察できる。 7. 精神科看護に対する自身の看護観について考察できる。</p>						
成績評価の方法・基準	精神看護学実習評価表に基づき評価する。						
教科書	オリエンテーション時に提示						
参考図書	オリエンテーション時に提示						
教員からのメッセージ	精神に障がいをもつ人とのかかわりを通して、差別・偏見・スティグマについて自身の感じ方や考え方を深め、社会生活においてもあたかな対応ができるようになることを望みます。また、常に現代社会の实情に目を向け、その人らしい社会参加と自立促進について、自身にも起こりうる事象として主体的に考える機会になることを願っています。						